

会 議 録

会議の名称	平成 28 年度 行田市観光委員会
開催日時	平成 28 年 10 月 6 日 (木) 開会：10 時 00 分 ・ 閉会：11 時 20 分
開催場所	行田市産業文化会館 2 階 第 2 会議室
出席者（委員） 氏 名	石井直彦委員長、梁瀬里司委員、吉田哲委員、小池利昌委員、 岡田時子委員、斉藤光子委員
欠席者（委員） 氏 名	横田康介委員、中山雅夫委員
事務局	環境経済部長 小林乙三、 商工観光課長 礒貝和実、 商工観光課主幹 西村尚紀、 商工観光課主査 関口達也、 商工観光課主事 鈴木健太
会議内容	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1) 平成 27 年度 事業報告について (2) 平成 28 年度 上半期事業報告及び下半期事業計画について (3) その他 4 閉 会
会議資料	(資料名・概要等) 平成 28 年度 行田市観光委員会次第ほか
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 石井委員長 事務局 石井委員長 事務局	<p>市民憲章唱和</p> <p>1 開 会</p> <p>2 挨 拶</p> <p>行田市観光委員会条例に基づき、議事進行については委員長に委任する。</p> <p>（1）平成 27 年度 事業報告について、事務局へ報告を求める。</p> <p>例年の年間事業については、</p> <p>4 月 4 日 水城公園桜ボンボリまつり</p> <p>4 月 17 日 行田春まつり</p> <p>5 月 4 日 さきたま火祭り</p> <p>7 月 12 日 行田蓮まつり</p> <p>7 月 25 日、26 日 行田浮き城まつり</p> <p>8 月 16 日 とうろう流し納涼大会</p> <p>10 月下旬から 11 月中旬まで 行田市菊花展</p> <p>11 月 23 日 ぎょうだ“夢”まつり</p> <p>11 月 29 日 わらアートまつり</p> <p>12 月 6 日 行田酉の市</p> <p>12 月 31 日から翌年 1 月 1 日 行田ゆく年くる年</p> <p>となっており、上記のうち入込客数が最多なものは「さきたま火祭り」で約 120,000 人、次いで「行田浮き城まつり」が約 60,000 人の来客数であった。</p> <p>その他の事業については、3 つの事業について御報告する。</p> <p>一つ目に、田んぼアート事業に係るシャトルバスの臨時運行を実施した。こちらは平成 27 年 9 月 8 日の田んぼアートギネス世界記録®認定に伴い、観覧する観光客への利便性向上を図るため、同年 9 月 12 日から 10 月 4 日までの土、日、祝日にあたる 11 日間運行し、のべ 1,955 人の利用者数を迎えた。</p> <p>二つ目に、ポタリング拠点整備事業として、行田市バスターミ</p>

	<p>ナル付近に観光案内所を新設した。こちらは市内回遊性の向上を図るとともに、市内の観光資源を自転車で散策するためのポタリング拠点として平成 28 年 4 月 2 日にオープンしたものである。</p> <p>三つ目は、ポタリングマップの作成である。こちらは埼玉県との協働事業である「川のまるごと再生プロジェクト」の一環として、観光客が快適に自転車での市内回遊ができるよう作成したものである。モデルコースを 4 つ設定しており、「浮き城のまち行田 サイクルサポーターズ」加盟店を掲載するなどポタリングに特化した内容である。また、用紙については耐水性のあるユポ紙を採用している。</p> <p>また、各施設（観光案内所、古代蓮会館、古代蓮の里売店、古代蓮の里うどん店）の利用者数についても、平成 27 年度と過去 2 年を比較すると大きな変化がある。このことについても、田んぼアートがギネス世界記録®に認定されたことによる話題性が大きく、併せて先に述べたシャトルバスの臨時運行による相乗効果があったものと認識している。</p>
石井委員長	<p>ただいま事務局から説明があった。質疑等があれば発言願いたい。</p>
梁瀬委員	<p>今年度についてはどのようなになっているのか。</p>
事務局	<p>古代蓮会館について、8 月だったと思われるが、40,000 人を超え月別では過去最多の来客数であったと施設管理者から報告を受けている。</p>
梁瀬委員	<p>来客数が増加した要因について、どのように把握しているのか。</p>
事務局	<p>昨年度、田んぼアートがギネス世界記録®に認定されたことに加え、今年度の田んぼアートの図柄が、日本をはじめ海外でも人気のあるテレビゲーム「ドラゴンクエスト」をテーマとしていることから、多くの方に本市を訪れていただき、入館者数に反映されているものと認識している。</p>
斉藤委員	<p>雑誌「ノジュール」の 6 月号にて、行田市が紹介されているの</p>

	<p>で、是非ご覧いただきたい。</p>
岡田委員	<p>古代蓮の里うどん店について、メニューが常時同じものであるため、他の方からも話を聞いたが種類の充実化等を御検討いただきたい。</p>
事務局	<p>うどん店のメニューについては、施設管理者である（公財）行田市産業・文化・スポーツいきいき財団においても、充実化について検討していると聞いている。</p>
小池委員	<p>平成 27 年度 事業報告のうち「ゆく年くる年」については、過去に行田市商店会連合会にて実施していたが、負担が大きいこともあり、手を引いた経緯がある。今現在、当該事業について、集客率に対し負担が大きいといった所感はあるのか。</p>
事務局	<p>ゆく年くる年については、県内において市で実施している事例は少ないと聞いている。御指摘のとおり、年末ということもあり負担となる部分もあるが、物産販売等について NPO 法人にも御協力いただいております、楽しみにしている方もおられることから今後とも継続して実施したいと考えている。</p>
梁瀬委員	<p>平成 27 年度の時代まつりについて、来客数を把握しているのであれば御教示いただきたい。</p>
事務局	<p>約 22,000 人である。</p>
石井委員長	<p>事業報告について、来客数は確かに分かりやすいが、それだけでなく経済効果や観光客回遊の変化など、効果がどのように表れたのかを明示することにより、事業への考えも変わってくるのではないかと思われる。</p>
事務局	<p>委員長御指摘のとおり経済効果あってこそ、どれだけの効果があったのかが把握できる。売上などについて把握できる施設もあるが、各商店などを含めると把握が難しい。しかし今後会議等において報告する機会があれば、経済効果なども含め可能な範囲で、今までと違った形で示せるよう努めていきたい。</p>
梁瀬委員	<p>観光情報館ぶらっとぎょうだの売上について、年々下がって</p>

事務局	<p>きているがどのように考えているのか。</p> <p>施設の場所が分かり難いという点が大きいのではないかとと思われる。それについては今後改善の工夫をしていく。また、秩父鉄道行田市駅周辺の整備について都市計画課が中心となって実施しているが、整備に伴う来訪者の買い物、休憩スペースとして提供できるよう努めていきたい。また、皆様からも御意見等があれば、御提案いただきたいと思いますと考えている。</p>
小池委員	<p>事務局から説明のあったとおり、場所も分かりづらく人件費もかかってしまい、今の状態では無駄が多い。如何に費用を少なくできるかが必要となってくるのではないか。</p>
石井委員長	<p>ぶらっとぎょうだについては、以前から感じていたが観光客だけでなく、例えば展示を行うなど市民の方が立寄るような工夫が必要であると考えている。良い商品などもあるので、「あそこにお客さんを連れてって良かった」と市民の方に思ってもらえるような施設になるよう一緒に考えていただきたい。</p>
斉藤委員	<p>商工センターにおいて、催しをさらに充実していただけると良いのではないか。</p>
事務局	<p>にぎわいの創出という点では重要になってくるので、施設管理者も含めて検討していきたいと考えている。</p>
小池委員	<p>忍城址において物産販売を行っている日もあるが、あのようなことがバスターミナルなどでもできると良いのではないか。</p>
事務局	<p>行田市バスターミナル観光案内所の建設時、売店を含む形での承認をいただけてないため、今後県にこちらの考えを示し、可能であれば進めていきたい。</p>
石井委員長	<p>売店についてもそうだが、可能性があるものは実例を調査するなど、しっかり調べていただいて、事業を進めていただきたいと考えている。</p>
斉藤委員	<p>熊谷のうちわ祭において、写真展が行われていたが、行田市でもそのような事業を実施してみたいか。</p>

事務局	<p>蓮まつりに伴う俳句と写真のコンテストを実施しており、今年も古代蓮会館に展示を予定している。今後は周知方法を検討し多くの方へ知っていただきたいと考えている。</p>
石井委員長	<p>平成 28 年度 上半期事業報告及び下半期事業計画について、事務局へ説明を求める。</p>
事務局	<p>今年度実施した例年事業については、</p> <p>4 月 2 日 水城公園桜ボンボリまつり</p> <p>4 月 17 日 行田春まつり</p> <p>5 月 4 日 さきたま火祭り</p> <p>7 月 10 日 行田蓮まつり</p> <p>7 月 30 日、31 日 行田浮き城まつり</p> <p>8 月 16 日 とうろう流し納涼大会（台風接近に伴い中止）となっている。</p> <p>その他、4 つの事業について御報告する。これらの事業は、東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、国が外国人旅行者の誘致を推進するビジョンを掲げている中で、本市においてもこれを絶好の機会と捉え、関係機関と連携を図りながら推進する必要があると認識している。</p> <p>まず一つ目が、外国人モニターツアー事業である。こちらは外国人の視点による行田の魅力を発見し、外国人への効果的な情報発信手段を見出すために英語圏、中国語圏、韓国語圏を含む 10 人程度の外国人を対象にツアーを年 4 回実施するものである。既に 6 月と 9 月、計 2 回のツアーが終了している。</p> <p>二つ目は、外国人向け情報発信事業であり、こちらは上記のモニターツアー事業の結果を踏まえ、外国人への効果的な情報発信の方法を構築するものである。平成 29 年 1 月頃に事業開始する。</p> <p>三つ目は、外国語ボランティアガイド育成事業である。こちらは外国語が話せる方を新たな観光ボランティアガイドとして育成するものである。市報ぎょうだ 6 月号にて募集を行い、行田観光</p>

	<p>ボランティア会から講師を迎えて5回程度の研修を行う。</p> <p>四つ目は、市内観光周遊アプリの開発である。こちらは本市を訪れた観光客が快適に市内を回遊できるようアプリを開発するものであり、平成29年3月の一般リリースに向け、現在は掲載内容を選定している段階である。</p> <p>今後の事業計画としては、</p> <p>10月下旬から11月中旬まで 行田市菊花展</p> <p>11月23日 ぎょうだ“夢”まつり</p> <p>11月27日 わらアートまつり</p> <p>(わらアート展示期間 平成29年3月26日まで)</p> <p>12月6日 行田酉の市</p> <p>12月31日から翌年1月1日 行田ゆく年くる年</p> <p>となっている。</p>
石井委員長	<p>ただいま事務局から説明があった。質疑等があれば発言願いたい。</p>
小池委員	<p>集客を行う上で、コスプレは効果的であり、コスプレイヤーが街を歩くだけでにぎわいが創出される。そのため行政からも仕掛けを作るなど、手を打ってみてはいかがか。</p>
事務局	<p>毎年春と秋に、民間業者が本市でコスプレイベントを実施しており、観光施設のほか各商店にも声をかけているとのことである。そのような中、こちらとしては撮影可能な店舗を登録制で募るといった方法も考えている。</p>
吉田委員	<p>忍城おもてなし甲冑隊の活動や経費等について御教示いただきたい。</p>
事務局	<p>土・日・祝日に忍城址において、演舞などを通じた観光PRなどを行っており、他のイベントへも出演している。こちらは株式会社JTB 関東へ事業を委託しており、委託料は年間3,000万円である。また、メンバーも毎年何名か入れ替わっていたが、今年度については昨年度と同じメンバーによる活動を実施している。</p>

<p>梁瀬委員 事務局</p>	<p>外国人モニターツアーの詳細について御教示いただきたい。 モニターツアー1回目の概要として中国、韓国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア、カナダ、アメリカから計12人の訪日外国人に、田んぼアート米作り体験事業に参加していただいた。2回目は中国、韓国、タイ、カザフスタン、台湾、ベトナム、香港から計11人の訪日外国人に、田んぼアート、さきたま古墳公園、忍城址などを見学していただいた。参加者からの意見としては、バスの本数、英語表記、古墳についての説明などについて充実して欲しいといったものがあった。また、レンタサイクルについても利用していただき、自転車で回遊すると景色が良いとの意見がある反面、長時間乗るのは厳しいといったものもあった。</p>
<p>梁瀬委員</p>	<p>先の御説明でもあったが、英語表記については、充実していただけると良いのではないかと認識している。</p>
<p>吉田委員 事務局</p>	<p>レンタサイクルの利用状況について御教示いただきたい。 平成26年度については4,243件、平成27年度については3,744件の貸出を行っており、観光案内所での需要が最も高い。現在は85台のレンタサイクルが稼働している。</p>
<p>小池委員 事務局</p>	<p>3人乗りレンタサイクルについて、需要が無ければ無くしたほうが良いのではないか。 御指摘のとおり需要は少ないが、中学生未満の方への貸出をしていないため、小さなお子様がいらした際に貸出せなくなってしまうことから現在は3人乗りレンタサイクルの貸出を行っている。 今後とも、利用状況を把握しながら検討していきたいと考えている。</p>
<p>石井委員長</p>	<p>中山委員と話をした際に、例えば大宮の盆栽美術館など外国人の来客が多く見込まれる施設にパンフレットを設置するなど、情報発信の方法を検討する必要があるといった話をした。ただ事業を行うだけでなく、目標の達成に向けた計画をして、事業を実施する姿勢が見えるよう努めていただきたいと考えている。</p>

事務局
小池委員

その他について、皆様から御意見等があればお聞かせ願いたい。
商業について、現在行田市では貸店舗が少ないことが問題である。商業についても観光に係わっているため、今後とも協力していきたい。

事務局

商業と観光は、切り離せないものであるため、中心商店街の活性化、回遊性の向上を図っていきたい。また、民間の方からも、御意見などを含むお力添えをいただけると、市としても力強い後押しになると考えている。

閉 会